

新旧対照表

旧	新
<p>～以上省略～</p> <p>5 構造改革特別区域計画の意義</p> <p>近年、情報処理技術や通信技術の飛躍的な発達により、行政や市民生活はもとより、ビジネスや産業などの様々な分野で広くITが利用されるようになり、生活利便性の急速な向上や、産業の生産性を高めるとともに、人と人とのつながり方など、市民生活に大きな変化を与えている。</p> <p>このようなITの発達により、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークとつながり、情報の自由なやり取りを可能にするユビキタスネットワーク環境の実現に向けた取り組みが進みつつあり、交通の発達による交流可能性の増大とあいまって国土のあり方にも幅広い影響が予測されるところである。</p> <p>これらは、今後もますます進展することが見込まれ、当該技術の基礎的な知識を持つ人材は、情報関連産業に限らず、保健・医療や教育など多くの分野において必要不可欠な存在となっている。</p> <p>本申請の初級システムアドミニストレータ試験及び基本情報技術者試験の午前試験を免除する特例措置が適用されれば、若い高度なITスキルを持った人材が多数輩出・育成され、企業においては即戦力となる人材の確保が容易となる。</p> <p>このことは商業や工業、さらには、新産業を中心に民間企業によるITの導入が着実に推進されるとともに、他産業への波及効果の高い情報関連サービス業の起業や異業種間の取引促進、IT企業の立地環境が整備されることになり、本市産業の活性化につながることを期待される。</p> <p>6 構造改革特別区域計画の目標</p> <p>今回の特区認定申請は、本市の産業の活性化を推進していく上でけん引役となるべき人材の育成と強化を目指すものであるため、資格試験の合格率の向上と人材育成を短期的な目標とし、本市の産業の活性化を長期的な目標として掲げる。</p> <p>(1) 資格試験合格率の向上と人材育成</p> <p>特例措置として午前試験が免除されることにより、ITに関する国家資格の取得を推進することは、将来の産業を担う人材を育成するための有効な手段の一つである。</p> <p>この特例によって午後の実務的試験分野に集中できるなど、受験者の負担が大きく軽減され、合格率の向上が見込まれることから、初級システムアドミニストレータ試験及び基本情報技術者試験においては、全国平均（平成18年度秋期でそれぞれ27.4%、24.2%）の合格率以上を数値目標とする。</p> <p>福島県平均の合格率（平成18年度秋期で初級システムアドミニストレータ試験18.4%、基本情報処理技術者試験21.5%）は、全国平均の合格率と比較するとそれぞれ下回っており、基準とする数値目標としては適当であると考える。</p> <p>～中省略～</p> <p>8 特定事業の名称</p> <p>1131（1143、1145） 修了者に対する初級システムアドミニストレータ試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>1132（1144、1146） 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>～以下省略～</p>	<p>～以上省略～</p> <p>5 構造改革特別区域計画の意義</p> <p>近年、情報処理技術や通信技術の飛躍的な発達により、行政や市民生活はもとより、ビジネスや産業などの様々な分野で広くITが利用されるようになり、生活利便性の急速な向上や、産業の生産性を高めるとともに、人と人とのつながり方など、市民生活に大きな変化を与えている。</p> <p>このようなITの発達により、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークとつながり、情報の自由なやり取りを可能にするユビキタスネットワーク環境の実現に向けた取り組みが進みつつあり、交通の発達による交流可能性の増大とあいまって国土のあり方にも幅広い影響が予測されるところである。</p> <p>これらは、今後もますます進展することが見込まれ、当該技術の基礎的な知識を持つ人材は、情報関連産業に限らず、保健・医療や教育など多くの分野において必要不可欠な存在となっている。</p> <p>本申請の_____基本情報技術者試験の午前試験を免除する特例措置が適用されれば、若い高度なITスキルを持った人材が多数輩出・育成され、企業においては即戦力となる人材の確保が容易となる。</p> <p>このことは商業や工業、さらには、新産業を中心に民間企業によるITの導入が着実に推進されるとともに、他産業への波及効果の高い情報関連サービス業の起業や異業種間の取引促進、IT企業の立地環境が整備されることになり、本市産業の活性化につながることを期待される。</p> <p>6 構造改革特別区域計画の目標</p> <p>今回の特区認定申請は、本市の産業の活性化を推進していく上でけん引役となるべき人材の育成と強化を目指すものであるため、資格試験の合格率の向上と人材育成を短期的な目標とし、本市の産業の活性化を長期的な目標として掲げる。</p> <p>(1) 資格試験合格率の向上と人材育成</p> <p>特例措置として午前試験が免除されることにより、ITに関する国家資格の取得を推進することは、将来の産業を担う人材を育成するための有効な手段の一つである。</p> <p>この特例によって午後の実務的試験分野に集中できるなど、受験者の負担が大きく軽減され、合格率の向上が見込まれることから、_____基本情報技術者試験においては、全国平均（平成18年度秋期で_____24.2%）の合格率以上を数値目標とする。</p> <p>福島県平均の合格率（平成18年度秋期で_____21.5%）は、全国平均の合格率と比較すると_____下回っており、基準とする数値目標としては適当であると考える。</p> <p>～中省略～</p> <p>8 特定事業の名称</p> <p>_____</p> <p>1132（1144、1146） 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>～以下省略～</p>

新旧対照表

旧	新
<p>別紙 1</p> <p>別紙 2</p> <p>1 特定事業の名称 1132(1144、1146) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 講座の開設者 ①学校法人 新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校(福島県郡山市駅前1-12-2) ②学校法人 新潟総合学院 <u>国際情報工科専門学校</u>(福島県郡山市方八町2-4-15)</p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 計画認定の日</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画 以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。 ①【<u>郡山情報ビジネス専門学校</u>】 基本情報技術者講座 (サーティファイ・情報処理技術者能力試験2級併用コース) 別添資料2-1参照 ②【<u>国際情報工科専門学校</u>】 基本情報技術者講座 (サーティファイ・情報処理技術者能力試験2級併用コース) 別添資料2-2参照 ～中省略～ (4) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 ～中省略～</p>	<p>別紙 1 ～ 削除 ～</p> <p>別紙</p> <p>1 特定事業の名称 1132(1144、1146) 修了者に対する基本情報技術者試験の午前試験を免除する講座開設事業</p> <p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者 講座の開設者 ①学校法人 新潟総合学院 郡山情報ビジネス専門学校(福島県郡山市駅前1-12-2) ②学校法人 新潟総合学院 <u>専門学校国際情報工科大学校</u>(福島県郡山市方八町2-4-15) ※②については、平成21年4月1日より、「国際情報工科専門学校」から「専門学校国際情報工科大学校」へ校名変更予定</p> <p>3 当該規制の特例措置の適用の開始の日 計画認定の日</p> <p>4 特定事業の内容 (1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画 以下の講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構(IPA)に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。 ①【<u>郡山情報ビジネス専門学校</u>】 基本情報技術者講座 (サーティファイ・情報処理技術者能力試験2級併用コース) 別添資料2-1参照 ②【<u>専門学校国際情報工科大学校</u>】 基本情報技術者講座 (サーティファイ・情報処理技術者能力試験2級併用コース) 別添資料2-2参照 ～中省略～ (5) 民間資格の名称及び当該民間資格を取得するための試験の試験項目 ～中省略～</p>

新旧対照表

旧	新																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">試験項目</td> </tr> <tr> <td>1 情報の基礎理論</td> <td> 基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算、符号理論 状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語 計算量と情報量 </td> </tr> <tr> <td>2 データ構造とアルゴリズム</td> <td> データ構造、アルゴリズムの基礎 流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法 各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率 </td> </tr> <tr> <td>3 ハードウェア</td> <td> 半導体と集積回路 プロセッサ、動作原理 メモリ、記憶媒体、補助記憶装置 入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体 コンピュータの種類と特徴 </td> </tr> <tr> <td>4 基本ソフトウェア</td> <td> OSの種類と構成 プロセス管理、割込み制御 主記憶管理、仮想記憶 入出力制御、ジョブ管理 ファイル管理、障害管理 ヒューマンインタフェース、日本語処理 ミドルウェア </td> </tr> <tr> <td>5 システム構成と方式</td> <td> システム構成方式、処理形態 システム性能、信頼性 応用システム </td> </tr> <tr> <td>6 システム開発と運用</td> <td> プログラム構造、制御構造 プログラム言語、言語処理系 EUC、EUD、ソフトウェアの利用 開発手法、設計手法、テスト手法 システムの環境整備、運用管理 </td> </tr> <tr> <td>7 ネットワーク技術</td> <td> プロトコルと伝送制御 符号化と伝送技術 LANとインターネット 電気通信サービス ネットワーク性能 伝送媒体、通信装置 ネットワークソフト </td> </tr> </table>	試験項目		1 情報の基礎理論	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算、符号理論 状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語 計算量と情報量	2 データ構造とアルゴリズム	データ構造、アルゴリズムの基礎 流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法 各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率	3 ハードウェア	半導体と集積回路 プロセッサ、動作原理 メモリ、記憶媒体、補助記憶装置 入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体 コンピュータの種類と特徴	4 基本ソフトウェア	OSの種類と構成 プロセス管理、割込み制御 主記憶管理、仮想記憶 入出力制御、ジョブ管理 ファイル管理、障害管理 ヒューマンインタフェース、日本語処理 ミドルウェア	5 システム構成と方式	システム構成方式、処理形態 システム性能、信頼性 応用システム	6 システム開発と運用	プログラム構造、制御構造 プログラム言語、言語処理系 EUC、EUD、ソフトウェアの利用 開発手法、設計手法、テスト手法 システムの環境整備、運用管理	7 ネットワーク技術	プロトコルと伝送制御 符号化と伝送技術 LANとインターネット 電気通信サービス ネットワーク性能 伝送媒体、通信装置 ネットワークソフト	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">出題内容</td> </tr> <tr> <td rowspan="30">テクノロジー系</td> <td>1 基礎理論</td> </tr> <tr> <td>1 基礎理論</td> </tr> <tr> <td>基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など 確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など 符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など 伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）</td> </tr> <tr> <td>2 アルゴリズムとプログラミング</td> </tr> <tr> <td>データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど） 流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など） プログラム構造、データ型など プログラム言語（種類と特徴など）</td> </tr> <tr> <td>2 コンピュータシステム</td> </tr> <tr> <td>3 コンピュータ構成要素</td> </tr> <tr> <td>コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど 主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど 補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など） 入出力インタフェース（種類と特徴など） 入出力装置（種類と特徴、性能計算など）</td> </tr> <tr> <td>4 システム構成要素</td> </tr> <tr> <td>システムの利用形態、システム構成など クライアントサーバシステム、RAID など システムの性能、信頼性、経済性など</td> </tr> <tr> <td>5 ソフトウェア</td> </tr> <tr> <td>オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など） ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど） ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など） 言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど） CASE、エミュレータ、シミュレータなど</td> </tr> <tr> <td>6 ハードウェア</td> </tr> <tr> <td>基本論理回路、組合せ回路など</td> </tr> <tr> <td>3 技術要素</td> </tr> <tr> <td>7 ヒューマンインタフェース</td> </tr> <tr> <td>GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など</td> </tr> <tr> <td>8 マルチメディア</td> </tr> <tr> <td>オーサリングツール、JPEG、MPEG など</td> </tr> <tr> <td>9 データベース</td> </tr> <tr> <td>データベースのモデル、DBMS など データ分析、データベースの設計、データの正規化など データ操作、SQL など 排他制御、障害回復、トランザクション管理など データウェアハウス、データマイニングなど</td> </tr> <tr> <td>10 ネットワーク</td> </tr> <tr> <td>インターネット（各種プロトコル、IP アドレスなど） LANとWAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど） LANのアクセス制御方式、LAN間接続装置など OSI基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など ADSL、FTTH、CATV 回線、イントラネットなど</td> </tr> </table>	出題内容		テクノロジー系	1 基礎理論	1 基礎理論	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など 確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など 符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など 伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）	2 アルゴリズムとプログラミング	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど） 流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など） プログラム構造、データ型など プログラム言語（種類と特徴など）	2 コンピュータシステム	3 コンピュータ構成要素	コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど 主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど 補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など） 入出力インタフェース（種類と特徴など） 入出力装置（種類と特徴、性能計算など）	4 システム構成要素	システムの利用形態、システム構成など クライアントサーバシステム、RAID など システムの性能、信頼性、経済性など	5 ソフトウェア	オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など） ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど） ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など） 言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど） CASE、エミュレータ、シミュレータなど	6 ハードウェア	基本論理回路、組合せ回路など	3 技術要素	7 ヒューマンインタフェース	GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など	8 マルチメディア	オーサリングツール、JPEG、MPEG など	9 データベース	データベースのモデル、DBMS など データ分析、データベースの設計、データの正規化など データ操作、SQL など 排他制御、障害回復、トランザクション管理など データウェアハウス、データマイニングなど	10 ネットワーク	インターネット（各種プロトコル、IP アドレスなど） LANとWAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど） LANのアクセス制御方式、LAN間接続装置など OSI基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など ADSL、FTTH、CATV 回線、イントラネットなど
試験項目																																											
1 情報の基礎理論	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算、符号理論 状態遷移、グラフ理論、オートマトンと形式言語 計算量と情報量																																										
2 データ構造とアルゴリズム	データ構造、アルゴリズムの基礎 流れ図、決定表、BN 記法、ポーランド記法 各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率																																										
3 ハードウェア	半導体と集積回路 プロセッサ、動作原理 メモリ、記憶媒体、補助記憶装置 入出力インタフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体 コンピュータの種類と特徴																																										
4 基本ソフトウェア	OSの種類と構成 プロセス管理、割込み制御 主記憶管理、仮想記憶 入出力制御、ジョブ管理 ファイル管理、障害管理 ヒューマンインタフェース、日本語処理 ミドルウェア																																										
5 システム構成と方式	システム構成方式、処理形態 システム性能、信頼性 応用システム																																										
6 システム開発と運用	プログラム構造、制御構造 プログラム言語、言語処理系 EUC、EUD、ソフトウェアの利用 開発手法、設計手法、テスト手法 システムの環境整備、運用管理																																										
7 ネットワーク技術	プロトコルと伝送制御 符号化と伝送技術 LANとインターネット 電気通信サービス ネットワーク性能 伝送媒体、通信装置 ネットワークソフト																																										
出題内容																																											
テクノロジー系	1 基礎理論																																										
	1 基礎理論																																										
	基数変換、データ表現、演算と精度、論理演算など 確率と統計、数値解析、数式処理、グラフ理論など 符号理論、述語論理、オートマトン、計算量など 伝送理論（伝送路、変調方式、誤り検出・訂正など）																																										
	2 アルゴリズムとプログラミング																																										
	データ構造（スタックとキュー、2分木、リストなど） 流れ図の理解、アルゴリズム（整列、探索、併合など） プログラム構造、データ型など プログラム言語（種類と特徴など）																																										
	2 コンピュータシステム																																										
	3 コンピュータ構成要素																																										
	コンピュータの構成、動作原理、プロセッサなど 主記憶、キャッシュメモリ、半導体メモリなど 補助記憶装置や媒体（種類と特徴、性能計算など） 入出力インタフェース（種類と特徴など） 入出力装置（種類と特徴、性能計算など）																																										
	4 システム構成要素																																										
	システムの利用形態、システム構成など クライアントサーバシステム、RAID など システムの性能、信頼性、経済性など																																										
	5 ソフトウェア																																										
	オペレーティングシステム（タスク管理、記憶管理など） ミドルウェア（API、ライブラリ、シェルなど） ファイルシステム（ディレクトリ、ファイル編成など） 言語処理ツール（コンパイラ、リンカ、ローダなど） CASE、エミュレータ、シミュレータなど																																										
	6 ハードウェア																																										
	基本論理回路、組合せ回路など																																										
	3 技術要素																																										
	7 ヒューマンインタフェース																																										
	GUI、帳票設計、画面設計、コード設計など																																										
	8 マルチメディア																																										
	オーサリングツール、JPEG、MPEG など																																										
	9 データベース																																										
	データベースのモデル、DBMS など データ分析、データベースの設計、データの正規化など データ操作、SQL など 排他制御、障害回復、トランザクション管理など データウェアハウス、データマイニングなど																																										
	10 ネットワーク																																										
	インターネット（各種プロトコル、IP アドレスなど） LANとWAN（トポロジ、回線、DSU、モデムなど） LANのアクセス制御方式、LAN間接続装置など OSI基本参照モデル、HDLC、ネットワーク性能など ADSL、FTTH、CATV 回線、イントラネットなど																																										
	～次頁に続く～	～次頁に続く～																																									

新旧対照表

旧		新			
試験項目		出題内容			
8 データベース技術	データベースモデル	11 セキュリティ	暗号技術、認証技術、利用者確認など		
	データの分析・正規化		ウイルスの種類と特徴、ウイルス対策など		
	データ操作		不正アクセス、不正侵入、不正行為の種類と対策など		
	データベース言語、SQL の利用				
	DBMS の機能と特徴	4 開発技術	12 システム開発技術	業務分析と要件定義 (DFD、E-R 図、UML など)	
	データベース制御機能 (排他制御、リカバリ)			モジュール分割と独立性、オブジェクト指向など	
9 セキュリティ	セキュリティ対策		構造化プログラミング、コーディングなど		
	プライバシー保護	13 ソフトウェア開発管理技術	テスト手法、レビュー手法、デバッグツールなど		
	ガイドライン		ソフトウェア開発手法 (スパイラルモデルなど)		
10 標準化	情報システム基盤の標準化		SLCP、リバーエンジニアリングなど		
	データの標準化	5 プロジェクトマネジメント	14 プロジェクトマネジメント	コスト見積り (ファンクションポイント法など)	
	標準化組織			日程計画 (アローダイアグラムなど)	
11 情報化と経営	経営管理 (経営戦略、組織と役割、マーケティングなど)		進捗管理、品質管理、コスト管理など		
	情報化戦略 (業務改善など)	6 サービスマネジメント	15 サービスマネジメント	ITIL (サービスサポート、サービスデリバリーなど)	
	IE 分析手法、管理図			コンピュータの運用・管理、システム移行など	
	確率と統計	7 システム戦略	17 システム戦略	業務プロセス (業務改善、BPR、SFA など)	
	最適化問題、意志決定理論			8 経営戦略	19 経営戦略マネジメント
	情報システムの活用 (ビジネスシステム、企業間システムなど)		マーケティング理論、マーケティング手法など		
	関連法規 (情報通信、知的財産権)		経営管理システム (CRM、SCM、ERP など)		
	21 ビジネスインダストリ		22 企業活動	経営組織 (事業部制組織、CIO など)	
		ビジネスシステム (POS システム、EOS など)		ヒューマンリソース (OJT、CDP、MBO など)	
			経営管理と問題発見技法 (PDCA、KJ 法など)		
			OR・IE (線形計画法、品質管理、在庫問題など)		
			会計・財務 (財務会計、管理会計、リースなど)		
		9 企業と法務	23 法務	知的財産権 (著作権、産業財産権など)	
				ガイドライン (ソフトウェア管理ガイドラインなど)	
			標準化団体 (JIS、ISO、IEEE など)		
			各種コード (文字コード、QR コード、ISBN コードなど)		
			補助単位 (T、G、M、k、ミリ、マイクロ、ナノ、ピコ)		

～以下省略～

～以下省略～